

東日本大震災による図書館の被害と再開の記録

今回の大震災は、浦安市立図書館にも大きな被害をもたらした。中央図書館に限定しても、閉架資料が7~8万冊棚から落下した。悪い事に、天井の電球が割れて、崩れた書籍の上に落ちてしまった。ガラス片を払い落としながら、資料を元に戻すのに2日間必要であった。

図書館職員は、災害対策本部での応援活動にも参加し、給水業務、土砂撤去作業、簡易トイレ配布、道路管理課業務の手伝い、等々も行った。今後も、罹災証明書発行業務を行う予定になっている(5月11日現在)。

この様な中で、4月25日(月)10時、中央図書館を皮切りに、順次再開された。ほとんど広報されていなかったが、待ちわびた市民が多数押しかけ、行列が出来るほどであった。平成22年度の1日当たりの最多貸出冊数は7,074冊であったが、25日は平日にもかかわらず7,500冊近く貸し出した。カウンターでの予約申し込みも、22年度の1日当たりの最多件数(155件)を倍以上上回る370件弱に上った。貸出利用者数も平成22年度の平日の平均と比較すると2.2倍に上った。この様な傾向は、公民館にある図書館分館が再開した5月1日でも続いていた。

再開した分館でも非常に混雑し、全ての分館で貸出冊数が1日1,000冊を超えるという、前代未聞の事が起きた。日の出分館では過去最高の3,000冊超となり、高洲分館と合わせると中央図書館を超える貸出冊数となった。再開後、多くの市民から、休館中の労をねぎらう声や、長く再開を待っていたという声が職員に届けられた。

以上の事は、図書館の職員からの情報を元にKSがまとめたものであるが、図書館友の会としても図書館職員に差し入れを行った事を最後に付記したい。また、開館時間は現在10時から17時までであるが、早急に体制を整えて、少なくとも18時までの開館時間の延長を希望したい。これからも職員の方々と共に、図書館を浦安の宝にしていきたいと思う。

(文責、KS)

5月の友の会デーは **《総会・館長を囲む会》** 視聴覚室

5月28日(土) 13:00~ 第18回総会

14:00~ 館長を囲む会

お茶を頂きながら和やかな会にしましょう

冬のお楽しみ会

冬のお楽しみ会が1月27日18時から中央図書館視聴覚室で行われました。参加者は会員と図書館職員とその家族です。前回の夏のお楽しみ会同様、エコに心がけてマイカップ&マイお箸持参で皆様のご協力もありごみ分別も楽しく出来ました。司書の伊藤さんによるストーリーテリングや会員の平田さんの伴奏に合わせて皆で懐かしい歌を歌ったり、会員の香西さんによる終戦前後のお話がありました。

「冬のお楽しみ会」にて

毎年私は参加しているが、十年前から松戸市に住んでいる関係で、会半ばに早退していた。しかし今回はみじかいながら公演をした。それは66年も前の大阪での6月17日の白昼、400余機で来襲したB29からの4度目の大空襲を受けた話で、二ヶ月後には敗戦の玉音放送をラジオで聞き、泣いたが…。

年少の子等も耳を傾け聴いてくれたのには本当に感銘した。言い換えると自らが「友の会」の一員である事をつくづく喜ばしいと実感したからともいえようか。(八十翁)



千葉県図書館関係市民団体連絡会

1月30日に君津市立図書館において、千葉県図書館関係市民団体連絡会が開催されました。館内見学をした後、前浦安図書館長の常世田良氏が国内の公共図書館の現状についてお話しされました。参加した各団体の活動や各地域の図書館についての情報交換が行われ、閉会となりました。連絡会に参加することは、県内各地の図書館を知る良い機会になっていると感じました。(E.K)

友の会デー 映画鑑賞会

2月26日の友の会デーは映画鑑賞会でした。映画鑑賞会は今回で2回目、第1集會室で「アルジャーノンに花束を」

(ダニエル キイス原作のSFファンタジー小説を映画化、ジュリアン ポアスリエ主演2006年フランス、スイス合作作品)を鑑賞しました。

ニュースレター「これからの友の会」で予告のあった図書館の出てくる映画「ハル」は集會室では見ることが出来ずに次回、視聴覚室で見せていただくということになりました。

年会費 1口1,000円以上

友の会デーに参加された時又は
銀行振り込みでお願いします
三井住友銀行 浦安支店
普通口座 6396254

ホームページが出来ました！

<http://members3.icom.home.ne.jp/stosho/>

浦安市立図書館のホームページからリンクできます。

ニュースレターもホームページからどうぞ

問い合わせ先：浦安市図書館友の会 舟田園子047-352-2486

〈編集担当：奥 祥子〉